

平成 28 年度「大阪市英語力調査」（「英検 IBA」）における市岡中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、大阪市教育振興基本計画*に基づき、英語イノベーション事業*の一環として、「大阪市英語力調査」（「英検 IBA」）を実施いたしました。この調査の目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、学校における英語の指導の改善を図ることです。

学習指導要領における中学校英語の目標は、「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う」と示されております。本調査で測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

- 1 目 的
- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
 - (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

2 対 象 大阪市立全中学校 生徒 1～3年生

※本校では 3年生 144人 平成28年11月4日（金）実施

2年生 153人 平成28年11月4日（金）実施

1年生 150人 平成28年11月4日（金）実施

3

内

容

学年	英検 IBA の種類	英検（目安）	テスト内容		満点スコア
			リーディング問題	リスニング問題	
3年	テストC	英検準2～5級レベル	35 題	30 題	1100 点
2年	テストD	英検3～5級レベル	35 題	30 題	1000 点
1年	テストE	英検4級・5級レベル	35 題	25 題	800 点

* 大

阪 市

教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

*英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

平成 28 年度 「大阪市英語力調査」(「英検 IBA」) の結果の概要と今後の取組 大阪市立市岡中学校

■ 調査内容

学年	英検 (目安)	テスト内容		満点 スコア
		リーディング問題	リスニング問題	
3 年	英検準 2 級～5 級レベル	35 題	30 題	1100 点
2 年	英検 3 級～5 級レベル	35 題	30 題	1000 点
1 年	英検 4 級・5 級レベル	35 題	25 題	800 点

■ 調査結果

【「語い・熟語・文法」「読解」「リスニング」の値は分野別平均正答率(%)】

3 年	学校平均スコア(点/1100 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 3 級レベル以上の割合 (%)
	720.3 点	55.4%	57.9%	48.5%	36.8%
	市平均スコア(点/1100 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 3 級レベル以上の割合 (%)
	723.9 点	54.0%	56.6%	51.1%	38.9%
2 年	学校平均スコア(点/1000 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 4 級レベル以上の割合 (%)
	642.0 点	62.0%	58.8%	60.3%	60.1%
	市平均スコア(点/1000 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 4 級レベル以上の割合 (%)
	650.6 点	64.1%	58.4%	61.8%	61.4%
1 年	学校平均スコア(点/800 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 5 級レベル以上の割合 (%)
	492.8 点	57.4%	46.3%	59.8%	77.3%
	市平均スコア(点/800 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 5 級レベル以上の割合 (%)
	509.2 点	63.7%	50.0%	61.6%	80.6%

■ 結果の概要と今後の取組について

学年	結果の概要と今後の取組
3 年	大阪市の平均と比較して英検 3 級レベル以上の生徒の割合が 1.9% 下回った。「語い・熟語・文法」「読解」の平均は大阪市の平均を上回ったが、「リスニング」に関しては大阪市の平均を下回った。リスニング力が課題であることがわかったので今後の授業ではリスニング力向上に取り組むことはもちろんであるが、継続性を持たせた授業をしていく必要がある。語い・熟語・文法についてはこれまで通り、復習→確認というサイクルを継続していく。読解力の向上については、一つの問題にじっくり取り組むことで英文をしっかりと読み込むトレーニングを継続して行っていく。
2 年	大阪市の平均と比較して「読解」がわずかに 0.4% 上回ったものの「語い・熟語・文法」「リスニング」、「4 級レベル取得者」に於いては平均点を下回った。「語い・熟語・文法」の力が不足しており、今後は単語力の定着から英文法の理解まで授業内や家庭学習での反復練習が必要と考えられる。3 年生を見据えて学習の達成度が確認できる小テスト等も多く取り入れていく。リスニング力はスピーキング力と合わせて、引き続き C-NET とティームティーチングを数多く行い、生徒の英語に対する興味関心と共に引き上げていく。
1 年	全ての項目において、市平均を下回った。特に「語彙・熟語・文法」の項目については、大きな差 (6%) が見られた。「語彙・熟語・文法」の定着に重きを置いて、学習を進めていく。スペリングコンテストや単語テストを活用していきたい。また今後、不規則動詞の過去形の学習において、学習する動詞の数が飛躍的に増えるため、反復して行っていく。「語彙・熟語・文法」とともに読解の機会を増やし、生徒が学習成果を感じられるようにする。